

2023年7月21日

クレストリンク株式会社の「SDGs宣言」策定支援について ～地元企業のSDGs達成に向けた取組みをサポート～

武蔵野銀行（頭取 長堀 和正）は、クレストリンク株式会社（所沢市、代表取締役社長 久保市 恒太）の「SDGs宣言」策定を支援いたしましたので、お知らせいたします。

当行では、2021年10月より、地元企業の皆さまのSDGs経営を応援する伴走型サービスとして「むさしのSDGsコンサルティング」の取扱いを行っており、本件はこれに基づく「SDGs宣言」策定となります。

当行は今後も持続可能な地域経済および社会の実現に向け、お客さまのSDGsの取組み支援などに注力してまいります。

《SDGs宣言策定企業の概要》

項目	内容
企業名	クレストリンク 株式会社
代表者	代表取締役社長 久保市 恒太
所在地	埼玉県所沢市東所沢1-4-1 ヤマザキビル201
業種および事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・不動産業 ・不動産売買、仲介業務
設立	2020年7月1日
宣言内容	<ul style="list-style-type: none"> ・当社の強みとパートナーシップで持続可能なまちや社会を実現していく ・事業の環境負荷を低減していく ・従業員が安心して働くことができ、スキルアップできる職場

以上



報道機関からのお問い合わせ先
ソリューション営業部 コンサルティング営業室 坂本 芳文
TEL (048) 641 - 6111 (代)



2023年7月10日

クレストリンク株式会社 SDGs宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、
SDGsの実現に向けた取り組みを行っていくことを宣言します。

代表取締役 久保市 恒太

SDGsの達成に向けた取り組み

当社の強みとパートナーシップで持続可能なまちや社会を実現していく

- ・当社は難易度の高い宅地開発(※)を事業の柱としており、今後も街の景観等を維持するために開発が困難な場所を造成し、持続可能なまちづくりに貢献していきます。
 - ・より広い地域や業務分野で当社の強みを発揮できるよう、同業他社との業務提携や自治体との共同事業を推進していきます。
 - ・社会貢献や地域貢献のため、ふるさと納税や地域のイベント等への協賛を行っていきます。
- (※) 難易度の高い宅地開発(開発事前協議案件)とは、開発前に自治体との調整や協議が必要な宅地開発のことです。



【指標】

2023年 難易度の高い宅地開発への取り組み件数 10現場 ⇒ 2030年度 100現場
2023年 連携しているパートナー企業や自治体の数 6社・団体 ⇒ 2030年 35社・団体
2023年 ふるさと納税や地域のイベント等への協賛回数 2回 ⇒ 2030年 10回

事業の環境負荷を低減していく

- ・環境に配慮した社有車への入れ替えを進めていきます。
- ・事業から発生する廃棄物については可能な限り3R(リデュース、リユース、リサイクル)を行い、廃棄物の発生量を減らしていきます。



【指標】

2023年 社有車の環境配慮型車両の比率 0% ⇒ 2030年 75%以上
2023年 社有車の平均燃費 15 km/ℓ ⇒ 2030年 25 km/ℓ 以上

従業員が安心して働くことができ、スキルアップできる職場

- ・業務に必要な資格(宅地建物取引士、他)は会社負担で取得できるよう支援する他、取得後は資格手当を支給していきます。
- ・働きやすい職場環境実現のため、働き方改革に関する各種制度を導入していくほか、障がいを持つ方も積極的に採用していきます。



【指標】

2023年 従業員に占める宅地建物取引士の資格取得割合 50% ⇒ 2030年 85%以上